

2020年2月27日

各 位

株式会社オウケイウェイヴ
代表取締役社長 松田 元
(コード番号:3808 名証セントレックス)
問い合わせ先 取締役 野崎 正徳
電話番号 03-6841-7672

(開示事項の経過) ビート・ホールディングス・リミテッドに対する SNS システムの著作権譲渡契約及び受託契約締結に関するお知らせ

当社は、2019年10月7日付適時開示「ビート・ホールディングス・リミテッドの株式取得及び業務受託契約締結に関するお知らせ」(以下「10月7日開示」)で公表しました通り、ビート・ホールディングス・リミテッド(本店所在地:ケイマン諸島、CEO:松田元、東証二部、証券コード:9399、以下「ビート社」)とブロックチェーン技術を使用した暗号化技術の開発に関する業務受託契約を締結し、2019年12月27日には当社連結子会社である OKfinc LTD. (本社:マレーシア・ラブアン、CEO:松田元、以下「OKF」)とビート社の連結子会社である Xinhua Mobile Limited (本店所在地:ケイマン諸島、Director:中村真詩、以下「XML社」)において、OKFが保有する暗号メッセージソフトウェア「OBC Messenger with Wallet」の著作権の譲渡および同サービスに係るサポートに関する契約を締結いたしました。この度、さらにビート社とWEBアプリケーションによるSNSシステムの著作権譲渡及び同サービスに係るサポートに関する契約を締結することとなり、さらに同サービスをブロックチェーン化するための開発受託契約(以下、両契約を合わせて「本契約」)を締結しましたのでお知らせいたします。なお、サポート契約には、同サービスにおけるバグへの対応やアップデートなどが含まれております。

記

1. 本契約の締結の目的

当社は、10月7日開示のとおり、ビート社が目指すCrypto Messenger & Wallet(暗号メッセージ及び財布機能)サービス及び健康医療分野での情報収集・管理・利用につきブロックチェーン技術を利用したエコシステムのサービスに関する開発の一部を、OKFの子会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN. BHD. (本社:マレーシア・ジョホール州、CEO:松田元、以下「OBC」)の有するブロックチェーン技術を生かして受託する予定であり、2019年12月27日にはその受託内容に先立ち、OBCが既にリリースしていた「OBC Messenger with Wallet(以下、「ウォレットサービス」)」の著作権を譲渡いたしました。一方、ビート社からの追加要請として、このウォレットサービスと連携したSNSサービスのアプリケーションについても開発を求められており、OKFではこの要望に応えるべく、ウォレットサービスとも親和性の高いSNSサービスも見据えて「OBC Blockchain SNS (non-blockchain version)」の開発を完了しており、この度XML社との交渉を経て、当該ソフトウェアに係る著作権譲渡契約を締結するに至りました。今回はWEBアプリケーションとしての機能を有するソフトウェアのみの提供となりますが、本日、その譲渡契約と同時に当該ソフトウェアをブロックチェーン化する受託契約を締結し、本年5月の納品を目的に開発を進めてまいります。

今回はウォレットサービスに付随するサービスの提供及び開発受託であります。2019年10月7日付業務受託契約に基づく、今後のビート社のCrypto Messenger & Wallet サービスにおけるオンライン・メッセージング APP「InphoMessenger」への「OBC Messenger with Wallet」の実装など複数のサービス開発等の受託についても見込んでおります。

2. 本契約の概要

<SNS サービス WEB アプリケーション「OBC Blockchain SNS (non-blockchain version)」の著作権譲渡契約>

- ① 譲渡先：Xinhua Mobile Limited
- ② 譲渡価額：250 万米ドル（約 273 百万円）
（注）日本円に換算するレートは、1 米ドル=109.06 円（2020 年 1 月 31 日現在）株式会社三菱 UFJ 銀行の対顧客電信売買相場（仲値）を使用しております。
- ③ 決済：検収後 3 営業日以内に 250 万米ドルを現金で支払われます。
- ④ 契約締結日：2020 年 2 月 27 日
- ⑤ 本譲渡ソフトウェア概要：サーバー上で動作する Web ベースの SNS アプリ用ソフトウェア
基本機能は下記の通り
 - ・文字・写真・音声・動画を投稿可能
 - ・GPS 機能により現在地付近の情報がアプリ画面上わかりやすく表記
 - ・機械翻訳による外国語翻訳機能

<SNS サービスブロックチェーン化の開発受託契約>

- ① 受託先：Xinhua Mobile Limited
- ② 受託価額：250 万米ドル（約 273 百万円）
（注）日本円に換算するレートは、1 米ドル=109.06 円（2020 年 1 月 31 日現在）株式会社三菱 UFJ 銀行の対顧客電信売買相場（仲値）を使用しております。
- ③ 決済：検収後 3 営業日以内に 250 万米ドルを現金で支払われます。
- ④ 契約締結日：2020 年 2 月 27 日
- ⑤ 納品日：2020 年 5 月 28 日（予定）
- ⑥ 本受託開発概要：SNS ソフトをブロックチェーン上で動作させるためのシステム開発
当該追加開発による追加機能は下記の通り
 - ・各投稿に関し、偽造・なりすまし・改ざんが制御可能
 - ・匿名性確保可能

※なお、本件につきましては、相手先である XML 社の親会社がビート社でありその代表を当社及び OKF の代表である松田が務めておりますことから、利益相反を回避するために、本日の OKF における取締役会の決議につきましては、松田を除く取締役のみで決議を行っております。

3. 今後の見通し

本契約の締結により、2020年6月期第3四半期において、フィンテック事業における約273百万円の売上の計上が見込まれます。また、損益への影響については、譲渡対象のソフトウェアに係る費用額が精査できていないことから現時点では不明ですが、利益を計上できる見込みです。

当社は、10月7日開示のとおり、ビート社からの業務受託により、開発受託等の業績寄与が見込めることから、同社株式の取得と業務受託を合わせて行うスキームの提案に対し、同社株式の取得対価1,500百万円（本年11月27日に1,460百万円に変更）が当該事業により回収可能であると判断し、このスキームを実行しており、現時点で500百万円を支払っており、2020年2月28日には、さらに500百万円を支払い、追加の株式取得を予定しております。

この投資回収判断の元となった事業に係る当社の事業計画では、本契約の対象であるソフトウェアのライセンス販売や開発の受託、当社が販売権を有しているPalantir Technologies Inc.の製品ライセンスや当社グループの保有するサービスに関連する広告の販売などビート社との業務上の取引を拡大させていくことを想定し、2020年には前連結会計年度の25%程度にあたる営業利益 EBIT を見込んでおり、それ以降もそれ以上の営業利益 EBIT となる計画を策定しており10年間の累計で、十分に投資以上の回収が可能であると判断しております。

ただし、現時点で当該事業計画は2019年12月27日及び本日開示した契約による収益を踏まえ、計画通り進捗するものと想定しておりますが、今後の販売計画はビート社が合意したのではなく、当社としての目標数値であり、今後の受託等の見込みにつきましては、当然ながらビート社の発注意向等によります。

また、当初、当社は当該事業計画の進捗に対し実現利益が著しく下回る場合において、ビート社株式について評価損を計上するリスクがあると考えておりましたが、2020年6月期第2四半期決算時の会計監査において、同社株式の取得価額と市場価格との乖離で減損処理を判断されることとなったため、第3四半期以降もビート社株価が上昇し、907.4円を超えていなければ、最終的には第3四半期末の会計監査での最終決定にはなるものの、明日取得を予定している株式についても同様に減損評価される可能性が高いものと考えております。

当社としては、上記記載の通り今後も継続的にビート社からの案件受託を見込んでおり、その受託費用で投資以上の回収を見込んでいるため、これを実現できるために引き続き全力で取り組んでまいります。また、追加の具体的な業務受託等につきましては、引き続き確定次第開示いたします。

以 上